

# 築 匠 美

題字 篤初誠美 揮毫 松山市内宮中教諭 日野 聖美 解説は3面



発行所  
(公財)愛媛県教育会  
〒790-8545  
松山市祝谷町1丁目5-33  
エスポワール愛媛文教会館内  
電話 (089)945-8644  
FAX (089)945-1459  
E-mail info@ehime-kyouikukai.jp

- (2) 学校紹介 久万小学校
- (3) 地区教育会だより(新居浜)ローカルピックス
- (4) (5) 特集、私の平成二十五年
- (6) (7) 第四十一回入選俳句
- (8) ふるさとスケッチ

## キャリアコンサルタントとして



愛媛県教育会理事  
ジョブカフェ愛workセンター長

大内 由美

キャリアコンサルタントという職業が日本に上陸して三年余り。私が資格を得た平成一三年当時は、友人に話しても、どんな仕事なのか想像が付き難い様子でした。

この仕事を簡潔に説明すると、個人にとって望ましいキャリアの選択・開発を支援するキャリア形成の専門家です。そうして、キャリアとは、人の生活や生き方、生きがいなどを含めた「仕事を中心とした人生」そのものを意味しています。

私とこの仕事の出会いは雑誌の記事でした。その頃、人材派遣会社に勤務していま

したが、バブル経済崩壊後の厳しい経営環境の中、生き残りをかけてコスト削減策を実行する企業では様々な問題が起こり、そこで働く人も悩みや不安を抱えていました。そんな人たちの役に立てていない自分に気づき模索していた時に、まさに私が求めていた仕事をしている人の記事を見つけたのです。すぐにその人へ会いに上京し、日本で学べるようになると同時に資格をとる、今の若年者就職支援の仕事に至っています。

職探しは混迷。「自分には何かできるはず」と信じ、その時にできることを自分なりにやっていたうちに、今に導かれました。それは、一見偶然のようで、実は必然だったようです。

キャリア理論の「計画された偶然理論」を知った時にそのことを実感し、人生の不思議と可能性を若い人に伝えていきたいと強く思いました。今、雇用環境が厳しいことも影響し、こんなに多様性になり、選択肢の多い社会に満ち、選り好みが多い中で、若者は自分の人生を随分窮屈に捉えているように感じます。

だからこそ私は、「大丈夫。あなたには幸せな人生を送る力が必ず備わっているよ。」という思いで、出会う若者の人生の挑戦を応援するキャリアコンサルタントでありたいと思っています。

### 一略 歴

(おおうち・ゆみ)

徳島大学教育学部卒業

平成15年 愛媛県就職支援センター

所長

平成17年 ジョブカフェ愛work

チーフコンサルタントを経て、現在はセンター長

### 響

木枯らしの吹く山里で、真っ赤に熟した柿の実をおいしそうに啄ばんでいる小鳥たちを見て、お年寄りから聞いた「木守り柿」のことをふと思い出した▼子供の頃は「木守り柿」に特別な魅力があり、欲しくてたまらなかつた▼「あれは、木守り柿といつて、今年の収穫のお礼と来年もたくさんの実をつけてくれるようにお願いするおまじないで、木のてっぺんに残しておくんだよ。また、人が全部とって食べてしまふのではなく、冬に食べ物が少なくなつて困る小鳥たちのために残しているんだよ。」▼小鳥たちのことまで気遣う細やかさに感心するとともに、自然とうまく共存しようとする昔からの習わしをもっと見習うべきではないだろうか▼最近の主のいなくなった柿の木が増え、実は収穫してもらえず、小鳥だけでなく猿などの恰好の餌となっている▼「放棄果樹」といわれ、人に忘れられ、手入れもしてもらえない柿の木はさぞ悲しんでいるであろう。

ひとこと

限られた時間の中で



愛媛県教育研究協議会 副会長 富長千恵美

生きていくということ  
誰かに借りをつくること  
生きてゆくということ  
その借りを返してゆくこと

この言葉は、永六輔さんの『大往生』の中に記されている言葉です。若い頃にはあまりぴんときませんでした。が、教職者としての残りの時間が限られる中で、その思いは強くなるばかりです。そしてこの「双方向に関わる中で生きていくこと」を子どもたちにも伝えたいという思いはさらに強くなっています。

社会の変化とともに価値観が多様化し、子どもをとりまく環境が大きく変わる中で、バランスのとれた子どもを育成することの難しさを痛感し

ます。自分の思いばかり主張する子どもがいる一方で、自分分はダメだと自尊心が極端に低い子どもがいます。いずれの子どもも、自分が「生かされている存在」であることに気付いていないからだと思われれます。自分を取り巻く「人」や「もの」や「こと」のおかげで自分が存在していることに気付けば、「他者への感謝」や「他者への思いやり」の気持ちは自ずと湧いてくるでしょう。「支えられている自分」に気付けば「支える自分」にもなれるでしょう。それは、永さんの言う「借りをつくりながら生きてきて」「借りを返しながら生きてゆく」ことでもあります。明るく「挨拶が行き交い、「おかげさま」「おたがいさま」「ありがとう」が行き交う共生社会目指して、学校という限られた場・時間だけでなく、今こそ「社会総がかり」で。

人生の時間も限られてくる中ですが、私が受けてきた「借り」を少しでも「返し」ていきたいと思っています。

(松山市立番町小学校長)

学校紹介

No.144

久万高原町立久万小学校

道徳の研究から

久万高原町は愛媛県の中部に位置する、人口約九千六百人の山あいの町です。基幹産業は農林業で、杉や檜の伐採、高原野菜の生産などが行

われていますが、後継者不足に悩みを抱えるなど、かつての賑わいを感じられないのが現状です。

次の表は過去五十年にわたる町の人口と小中学校数、久万小学校の児童数を示したものです。昭和三十年代をピークに人口、学校数ともに減少の一途をたどっており、過疎化・少子高齢化や統廃合の状

久万高原町の人口と学校数

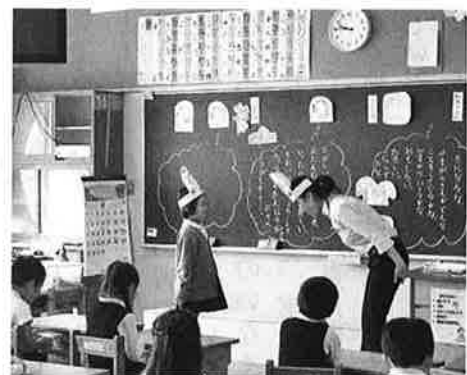
	人口(人)	小学校数	中学校数	小児童数
昭和30年		29	15	752
昭和40年		28	13	622
昭和45年	21,432	25	13	463
昭和50年	18,014	23	13	396
平成元年	13,313	21	9	292
平成10年	11,887	19	8	260
平成25年	9,686	9	3	188

況を理解していただけたと思っています。

そのような中、久万小学校では昨年までの二年間、特色ある道徳教育の研究に取り組み、本校の目指す「やさしい子」を育てるための努力をしてきました。授業における工夫や子供の考え方を伸長する取組の結果、やさしさと表現力を身に付けた児童が育ってきたと実感するほか、教師自身の指導力が向上してきたと思われるなど、その成果が徐々に現れ始めました。

研究内容としては、指導計画の見直しや授業改善(写真)、他教科との関連的な指導および体験活動の充実などがありますが、子供の心に響く取組になったと感じています。

また、PTA活動の一環として、教師や一般会員による人権学習会を実施しています。道徳と人権学習を関連させた際には、児童と同じ教材



を使って学習を深めました。参加者からは「違う価値観に出会えた」など、好意的な意見が寄せられ、今後の道徳教育を考える上で貴重な時間となりました。

このように、子供のやさしさを育む教育活動を通じて、学校と保護者、さらには地域社会が一体となり、地域に根ざす学校づくりを今後も継続していきたいと考えています。そして、将来もこの町で生活をする人材を育てること、過疎化に歯止めをかけ、町の活性化を図ることができればと思います。

(教頭 宇都宮 基)

題字に寄せて

篤初誠美



松山市内宮中  
教諭 日野 聖美

南朝・梁の武帝の命を受けて周興嗣が一夜で考えたという千字文。皇帝に進上したときには白髪になっていたという。同じ文字を二度と用いず、四字を一句とする二百五十個の短句からなる韻文である。書道の手本として用いられ、歴代の能書家が千字文を書いている。

今夏、唐・懷素による草書千字文を学習する機会を得、あらためてその全文にあたることができた。その中で、心に残った句のひとつが「篤初誠美」（初めを篤くするは誠に美なり）である。「慎終宜令」（終を慎しむは令しとす宜し）と続く。  
今回は大好きな金文書体で揮毫させていただいた。

地区教育会  
だより

新居浜教育会  
はばたく幟



新居浜教育会  
会長 横山 泰茂

去る五月九日、平成二十五年度新居浜教育会がスタートしました。十一人の新人会員を迎え、現職・OB・賛助総勢一〇八三人です。

さて、写真にある幟は六年前に先々代の藤野卓郎新居浜支部長が就任の際に十五幟を企画・新調されたものです。それには「礼を正し、場を清め、時を守る」と中段に印字されています。この言葉は教育学者の森信三先生が提唱されたものですが、藤野支部長が支部活動の益々の活性化と発展を願い、スローガンとして採用されました。上段には愛媛教育会のロゴマーク、下段に「凡事徹底」「新居浜教育会」と印字されています。布縦約二メートル、布幅約



五十センチ、棒高約三メートルで地色は伊予柑色で愛媛と優しさをイメージしています。

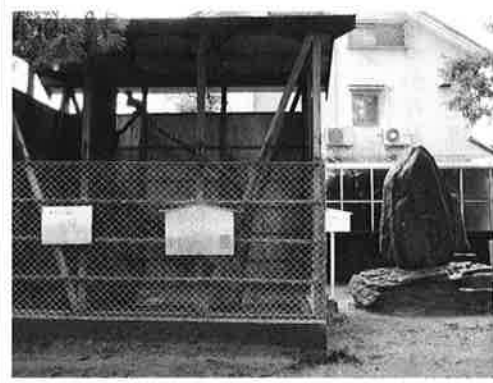
今なお我が教育会館の玄関に常設掲揚されています。風雨に傷み三枚目です。新会長と共に新幟となります。更に諸活動（教育の日、清掃隊、講演会、研修旅行、傘寿の集い、新年会、会議等々）の場に翻りPRと活性化に一役を担っています。  
ちなみに、この幟とペアで新調されたのがユニフォームです。  
幟とユニフォームに支えられ、本年度諸活動が満帆のうちに推進をしています。

ローカルトピックス

手引きの松

「手引きの松」は、三島神社（松山市余戸東五丁目）の境内にあり、目通り二・五メートルほどの松が、地上六メートルのところどとなり松とH形につながり、手を引き合った姿に見えるところから、いつとはなく「手引きの松」と呼ばれるようになったもので、余戸の象徴として広く親しまれてきた。

樹齢は推定二百年位、学術的にも貴重なものとされ、昭和三十七年には松山市の天然記念物の指定を受けた。昭和五十四年秋、松食い虫の被害



で枯死した。

俳人正岡子規は「散策集」に「をさなき時の戯れも思ひ出だされたり竹の宮の手引松は今猶残りて二十年の昔にくらべて太りたる体も見えず」と記し「行く秋や手を引きあし松二木」と詠んでいる。かつて人々が敬愛し、子規が幼時に戯れた「手引きの松」の枯死を惜しみ、H形になった部分を残して上屋を設け、子規の句碑と共に保存されている。

文教月報編集協力委員  
松山市教育会 久坂 文治

足跡をつづる、私を記す、形に残す。  
あなたが主人公のドラマを未来に伝えませんか。  
**「本」づくり  
応援キャンペーン**  
●綴装・装丁のご提案 ●編集方針のご提案 ●レイアウト見本のご提示  
●原稿作りのアドバイス ●予稿のお見積もり ―その他、ご相談承ります。― ※書版での納期をお知らせの方も是非お聞かせください。  
ご注文・お問い合わせ 印刷営業部 TEL (089)945-0112 FAX (089)947-6073  
SEKI セキ株式会社 松山本社/松山市瀬戸町7丁目7-1 TEL(089)945-0111  
東京本社/東京都渋谷区代々木3丁目2-8 TEL(03)3377-1230  
支店/大阪 豊洲 彦根 高松 http://www.seki.co.jp

# 特集 私の平成二十五年

## 驚きと感動の ニュージールランド



中東予論 東条市教諭 今井 充彦

私はこの夏、中学校海外派遣団の一員としてNZへ行かせていただいた。海外が初めての私にとって、この経験は驚きと感動の連続だった。

まず驚いたのは、この国の自然の美しさである。オークランドから郊外へ車でわずか数分走ると、そこには雄大な牧草地が広がっている。延々と続く緑の平原。牛や羊の群。人影もほとんどなく、まるでおとぎの国の世界に入りこんだような不思議な気持ちになった。

なかたまりの肉。業務用洗剤かと勘違いしそうな大きな容器に入った牛乳やジュース。日本の感覚で買い物するとい買ひすぎて、買ひ物のたびに後悔してしまつた。さらに驚いたのは日本製品の多さである。特に、日本の中古車の占有率は八〇%近くあり、「〇〇商店」「〇〇会社」などと書かれた元日本の営業車を見かけることもあつた。九千キロ離れたNZでこの光景を見ると、何とも言えない面白さを感じた。走行距離が二〇万キロの車など、ここではまだまだこれからである。日本ではスクラップとみなされて、廃車にしたはずの車も、実は今もNZのどこかで元気に走っているかもしれない。NZの街を歩くと、様々な国の言語が飛び交い、学校では様々な民族の生徒たちが楽しく生活している。NZは人もやさしく、美しい自然に恵まれた、またいつか訪れたいと思う素晴らしい国であつた。

## 私の平成二十五年



中花立市立 今治市立 村上 達哉

この一年間で、私にとっての大きな出来事は転勤したことである。教職員の誰もが経験することだが、決して小さなことではないと思う。三月末にはお世話になつた方々に別れを告げ、四月には新たな職場で温かく迎えていただいた。

「転勤したら『前の学校ではこうだった。』は通用しない。」以前、上司がおっしゃっていた言葉だ。学校によって生徒、保護者、地域などの事情が全く異なるからである。四月、五月はまさにそのことを実感した。周囲の先生方に教えていただきながら、自分の仕事を一から見直す日々が続いた。夏になり、ようやく転勤で出た荷物を整理した。前任校や、さらにその前の学校の時代のものもあつた。捨てがたいものもたくさんあり、思い

のほか時間がかかつた。

整理をしながら、改めて自分が今まで多くの方々から教えてもらったことを感じた。その教えを生かしつつ、ここで新たに学ぶことが、今の自分に必要なことだ。転勤は、自分自身を更新するよいタイミングである。この学校ですっかりと学び、自分のできることには挑戦していきたい。

転勤によって職場の環境は大きく変わったが、変わらなこともある。それは、生徒や先生方の笑顔だ。元気にあいさつする生徒や、笑顔を絶やさない先生方に、いつも大きなエネルギーをもらつている。私も笑顔を大切にし、笑顔あふれる立花中学校を目指していきたい。

## 新しい出発



中南海市予 幸島 奈津美

平成二十五年を振り返ってみる。今年は今までの中でも一番、人と人とのつながりを

感じた一年だつたように思う。教員二年目にして、初めての学級担任。至らないことばかりだったが、先輩の先生方に、そしてクラスの子どもたちに助けってもらつた。

そして、平成二十五年六月一日。この日は、人生において忘れられない一日になった。この日を境に私は「辻田」という名字から「幸島」という名字に変わった。初めて新しい名字で自分の名前を書いた時、自分の名前ではないような不思議な気分とともに、夫と人生を共にする新しいスタートを確かに感じた。しかし、新しい家庭をもつたとはいえ、まだまだ精神的に幼い私たち。些細なことでケンカをすることもあつた。しかし、お互いに歩み寄つて日々過ごしている。交際期間が長いため、相手のことを知り尽くしていると思つていたが、入籍してからも新しい一面が見え、またさらに仲が深まっていくように思う。今後、私たちは一体どのような家庭を築いていくのだろうか。私の両親のよ

うに、温かくそしていつまで

もお互いを尊敬し合える、そんな関係でいたいと思う。

ようやく、「幸島」という名前を呼ばれるのに慣れてきた今日この頃。まだまだ若輩者の私たちが、日々助けて

くださっている同僚の先生方、そして笑顔を分けてくれている生徒たち、すべての人々に感謝の気持ちをもちながら、夫との二人三脚を一步、歩んでいきたい。

### ただいま母校



小申家町南愛媛  
教頭  
中川 公詞

着任してすぐに校歌を歌うことができた。それは、今年度、初めて自分の出身校に赴任することができたからだ。母校で教員ができるなんて、なんて幸せなことだろう。毎朝、地域の方々と「おはようございます」という挨拶を交わすことから一日が始まる。海辺の人たちは、一日が早い。すでに仕事をしている人も、必ず挨拶を返してくださる。本当に心地よいスタートだ。

「香る潮の おだやかな 渭南の海の あさほらけ」

子どもたちの登校時には、見守り隊の方々に活躍していただいている。声を掛けたら、ハイタッチをしたりと、様々な方法でコミュニケーションをとっていらつしやる。また、「しおご学習（総

### 祝 受章・受賞おめでとうございます

◆瑞宝双光章（秋の叙勲）

寺坂 史子様 70歳 元松山市立新玉小学校長 松山市

古川 一豊様 70歳 元新居浜市立中萩中学校長 新居浜市

◆瑞宝双光章（高齢者叙勲）

池川 敏朗様 88歳 元重信町立南吉井小学校長 東温市

岡本 信市様 88歳 元宇和町立田之筋小学校長 西予市

原 美津雄様 88歳 元新居浜市立角野小学校長 新居浜市

佐伯 敬續様 88歳 元丹原町立丹原小学校長 西条市

◆県教育文化賞  
岡 省吾様 78歳 元県立和歌山教育委員、元信州東海大学校長 東温市

合的な学習の時間)」では、海のスペシャリストとして、

養殖関係者や食育関係者が講師として活躍されている。運動会でも、種目はもちろん、準備や後片付けまで当たり前のように協力していただいている。まさに、地域に支えられて

いることを実感する。高学年は、下学年の手本になるよう、また、世話ができるよう心掛けています。低学年は、自分たちでできることを見付けて頑張っている。「支え合う」関係がそこにはある。それがごく自然なのがいい。

潮の香りにふんわりと包まれて、今日も後輩となる十五名の「家串っ子」たちが元気に活動している。

### 無人島生活を体験して



小堀江市松山  
教諭  
西田 実里

陽。広がる海の先に見えるのは水平線ばかり。教員生活二年目を迎え、参加させていただいた真夏の無人島(御五神島)生活は、私にとって忘れられない宝物となりました。

この体験事業に参加する前は、お風呂も電気もきれいなトイレもない、何もない島暮らしに自分は耐えられるのかという不安でいっぱいでした。しかし終わってみればあつという間の十日間で私の生涯の宝物となりました。正直、暑くて体力的にも厳しくて気持ち折れそうときもありました。そんな気持ちは子どもたちもみんな同じで、

班の仲間たちとぶつかったり失敗したりすることもたくさんありました。だけどその困難を共有し、乗り越えたからこそ絆が生まれ、子どもたち

どこまでも続く青い空、容赦なく照りつける眩しい太陽

の間でお互いを思いやる言葉が飛び交い、自分にできることを考えて動く姿がどんどん増えてきました。十分な食べ物はなくとも、班でケラケラ笑いながら食べるご飯の時間が何より幸せに感じました。食べるこの大切さを改めて

実感しました。十日間で入ってこんなに変わるんだな、優しくたくましくなるんだなということに感動しました。「教師と子ども」ではなく、人と人とのかわ

りをさせてもらったことは、私にとってかけがえのない思い出となりました。暗くなったら寝て、生きるために釣りをします。夕日が沈む瞬間をみんなで見つまでもぼんやりと眺める。こんな事でもう経験できないなと今改めて思っています。

### 補聴器取扱のご案内

組合員様のご家族で、耳のお悩みをかかえていらっしゃる方はいませんか？

学校生協ではご自宅までお伺いし、聴力の具合を測定し、お客様の耳にあった補聴器のご提案を致します。

店舗まで出向く必要もなく、是非一度ご相談下さい。

提携会社 シンコム(株)

お問い合わせは 愛媛県学校生活協同組合連合会  
電話 (089-925-0555)  
または郡市学校生活協同組合

学校生協

# 第四十一回愛媛県教育会俳句募集入選句

協賛 愛媛県学校生活協同組合連合会

## 一般の部

投句者 二四名 投句数 四六句

### 上原 白水先生選

特選

虫の音に迎へられたる母郷かな

優秀

孫曾孫集ふ米寿の夏座敷

縁側に腰を掛ければ風は秋

佳作

青春を捧げし日々や遠花火

亡き友の形見身につけ彼岸供養

亡き母の思い出尽きず盆の月

コスモスの咲きて元気にダイヤ婚

指先に哀愁にじむ阿波をどり

手押車の休み休みや里の秋

夫の世話生きがい老の敬老日

はにかみは昔のままや帰省の子

子に遠く老ひし夫婦の敬老日

### 近藤 良郷先生選

特選

山脈は雲冠りをり袋掛

今治 渡部 元子

優秀

子に遠く老ひし夫婦の敬老日

花莫塵の一角老の占めてをり

佳作

逝く雲にかなかなの風吹き上ぐる

亡き母の思い出尽きず盆の月

花万朶桜の歌を口ずさむ

ちちろ鳴く厨吾が城湯気立ちぬ

入梅や叔父の残せし田は広し

いちはやく首すじに触る秋の風

収穫の畑に残せし唐辛

虫の音に迎へられたる母郷かな

夕間暮れ空蟬を手に佇みて

はにかみは昔のままや帰省の子

八幡浜 谷本 澄子  
西予 兵頭 昇

新居浜 印南 秀克

今治 金子 敏雄

今治 金子 敏雄

今治 森 ユキ子

松山市 北岡 典子

松山市 増元 千代子

松山市 山内 之夫

松山市 増元 晶尚

松山市 大木フク子

伊予 神野 正憲

## ジュニアの部

応募校 二二校 投句数 四六二句 (校名下の数字は学年)

### 高山 佳子先生選

特選

秋日よりねこもいっしょにひっこしだ

優秀

アキアカネ自転車に止まるのぼり坂

ぼくたちといっしょに帰るオニヤンマ

ありたちがわたしに内緒でうわさする

佳作

夏の風両手を広げしんこきゅう

運動会一位めざしてかけ出した

くまぜみが何度ももどる庭の木に

夕暮れに野菜に水かけ蚊にさされ

遊子川小三 入船 晴加

明神小五 上田 悠登

立間小五 清家 大陸

中浦小六 藤田 愛香

船木小五 鴻上 董

素鷺小三 高本 和空

道後小五 木岡さやか

道後小六 高橋 英志



## 愛媛マラソン

2014.2.9開催

参加される教職員の方に Tシャツを進呈しています。

詳しくは下記までお問い合わせください。

共済

(提携保険事業)



公益財団法人 日本教育公務員弘済会愛媛支部  
〒790-8545 愛媛県松山市祝台町1-5-33 エスワール愛媛文教会館内  
TEL(089)932-8358 FAX(089)932-8357

奨学

研究 助成

教育 文化

福祉

学校生協

### 眼鏡市場提携のご案内

愛媛県学校生活協同組合連合会は眼鏡市場と提携店契約を結んでおります。

組合員の皆様は学校生協のクーポンチラシを店頭にご持参頂きますと、現金もしくはクレジットカードでお買上げの際に5%割引が適応されます。

(補聴器は5%割引の対象から外れます。)



お問い合わせは 愛媛県学校生活協同組合連合会  
電話 (089-925-0555)  
または郡市学校生活協同組合

選者紹介



俳誌「泉」主宰  
うえはら いさお  
上原 勲

- 元中学校長
- 俳人協会評議員
- 松山市御幸二一四一八一三在住
- 俳号「白水」



俳誌「淡柿」代表同人会長  
こんどう りょうご  
近藤 良悟

- 元小学校長
- 元愛媛県俳句協会松山俳句協会理事
- 東温市志津川九七一五在住
- 俳号「良郷」



こうやま よしこ  
高山 佳子

- 東温市立上林小学校校長
- 松山市東長戸四一六一七在住



いけだ たかゆき  
池田 尊之

- 松山市立道後小学校教頭
- 松山市枝松三一七一四在住

夏の朝姉妹でねぞうおんなじだ

花火でねハートをかいた父さんに

夏の花火さらさらまほうにかかっている

笛太鼓獅子舞練習筋肉痛

母さんに言われて見上げる丸い月

かぶとむしすいかのうえでやすみよる

川ぞいにホタルが夜のパトロール

算数で計算まちがいつゆに入る

炎天の日を通りこし虫歌う

秋色の夕日に染まるグラウンド

首を振る季節外れの扇風機

味生第二小三 藤丸 梨寿

石井北小二 松平 定大

石井北小四 山崎菜々子

浅海小六 津村 恭介

明神小二 上田 菜由

栗津小一 ほしかそうじろう

立間小六 浅野 真凜

中浦小五 安田慶次郎

重信中一 三好 輝正

八代中三 岩崎 修平

八代中三 佐々木結芽

池田 尊之 先生選

特選

父の眼に花火と同じ色映る

優秀

稲刈って田んぼに道ができていく

よしのふえふといおとしたかたいくき

せみよ鳴け生きた証を残してゆけ

佳作

大きいな先生みたくくす若葉

竹の子の着物全部で十九枚

探してたサンダルおどる波の上

なしむいだおそるおそるしんちように

父さんにしようぎでボロ負けつゆの夜

南風せんたく物がおどってる

まつり前だんじりみがい月を見る

チューリップちよつとめをだしまっている

いちじくを祖母と二人でかぶりつく

父さんとコスモスの道手をつなぐ

石井北小五 小田みなみ

上林小四 小野植雄大

中浦小一 中谷 優希

重信中二 山内 真由

船木小五 松場 美羽

中萩小五 鍋井 健弘

素鷲小六 竹本 舜

素鷲小四 佐川 瑠美

味生第二小三 浅田 幸大

石井北小三 尾崎 愛佳

浅海小二 新梅桑二郎

上林小二 倉橋 凜帆

明神小五 山之内里穂

明神小六 船本 旭香

夏休みぬいた草からイモ虫が  
あきのかわかにがたまごをもつていた  
すいとこのこおりカラカラのどからから  
帰り道かにながでてきたとおせんぼ  
癒される月を眺める猫のひげ

栗津小三 徳田 蓮哉  
遊子川小一 山本 琉翔  
立間小二 宮本 怜  
立間小三 酒井 翔平  
八代中二 上野 姫愛

平成25年度 第41回俳句募集応募状況

ジュニアの部				一般の部			
校種	地 区	校数	応募数	地 区	人数	地 区	人数
小小小	新松東上	1	15	四国中央	1	伊予	1
小小小	居山温	1	24	新居浜	3	内子	1
小小小	松東大	1	24	西条	2	八幡	1
小小小	浮洲	1	88	今治・越智	7	西予	1
小小小	和宇温	1	10	松山市	7		
小小中	宇南東	1	64				
小小中	宇南東	1	26				
小小中	八幡	1	8				
小小中	八幡	1	31				
合計		21	462	合計			24
(参考)	24年度	22	655	(参考)	24年度		26
(参考)	23年度	26	636	(参考)	23年度		30
(参考)	22年度	17	643	(参考)	22年度		27

入選者の賞、副賞

	ジュニアの部(県学校生協賞)	一般の部
特選	賞状、辞典	賞状、当該俳句入り色紙(大倉可貴先生画)
優秀	賞状、筆記具	賞状、筆記具
佳作	賞状、筆記具	賞状

愛媛県教育会短歌・川柳・自由律俳句募集

応募期限は平成二十六年一月二十七日(月)までです。応募要領は愛媛文教月報六月号(第四四一号)または愛媛県教育会ホームページをご覧ください。

ふるさとスケッチ

No.362

海のある景色



大洲市大洲南中教諭 清水 武文

さびれた棧橋は、いつ帰省しても、変わらぬ潮風とおだやかな波音で迎えてくれる。夕暮れ時になると、その静かな水面には、漂う光景がある。棧橋から下を眺めると、にわか水面近くまで浮き上がる小魚の群れ。夕暮れ時は、虫たちにとっても忙しいとき。落ちた波紋に敏感に反応す

るその時間帯は、小魚が夕日の輝きを、水面をさらにまぶしくさせる瞬間でもある。そんなふるさとの景色が、私の絵の原点である。



ご冥福をお祈りします

大野 良作様	73歳	松山市立花四七四	25	10	9
中野 繁様	87歳	松山市衣山三三三	25	10	14
高内 寛様	81歳	新居浜市垣生四四五	25	10	18
高橋 篤子様	90歳	西条市朔日市二〇五二	25	10	18
碓井 幸子様	101歳	新居浜市松神子二〇一四三	25	10	24
井手 久夫様	87歳	松山市北条八三	25	10	25
光田 幸重様	94歳	松山市古川北三二一五	25	10	26
荻山 義男様	75歳	松山市下難波甲七三二	25	10	28
片上 重春様	90歳	今治市大西町山之内甲二六〇	25	10	29

お知らせ

◆「えひめ教育の日」関連写真

「えひめ教育の日」関連写真の募集に、県内七五校より「愛顔いっぱいえひめっ子」をテーマとした作品二一四点をお寄せいただきました。「きらめき」「はばたけ」「ぬくもり」「きずな」の各大賞、優秀賞六点をはじめ、各参加

校の優れた作品を、文芸会館、愛媛県庁で展示するとともに、大会リーフレットで紹介しています。

○はばたけ大賞「きっずニア in ほりえ」



松山市立堀江小学校

○きらめき大賞「川狩り」



松山市立久枝小学校

○きずな大賞「地域ぐるみで避難訓練」



今治市立大西中学校

○ぬくもり大賞「防災キャンプ～ドラム缶風呂～」



宇和島市立吉田小学校

○優秀賞（六点）

- 「今治市民のまつり『おんまぐ』」 今治小学校
- 「立干網漁」 城東小学校
- 「親子生け花教室」 素鷺小学校
- 「海テラス給食」 怒和小学校
- 「PTA親子奉仕作業」 川上小学校
- 「ナイトステイ射的ゲーム」 面河小学校

啓林館 尋常小学算術 (緑表紙)復刻版

広島支社 〒732-0052 広島市東区光町1-7-11 広島CDビル5F TEL 082-261-7246

現職会員の皆様！！

自助努力による年金の必要性が高まっている今、将来の生活資金の準備として、若いうちから積立てを始めてみませんか？

愛媛県教育会の積立年金制度

予定利率は 年1.25% (平成25年10月1日現在)

加入時期は 例年2回(加入日4月1日・9月1日)募集は5月と12月

委託会社は国内の保険会社

明治安田生命保険相互会社と第一生命保険株式会社

4月1日加入分、現在受付中です。ぜひご検討ください！

※ご加入者の方は、パンフレットをご参照ください。

公益財団法人 愛媛県教育会 積立年金経営委員会

TEL 089-945-8644

MY-A-14-LF-000321